

OTC胃腸・便秘・痔の薬特集

「地域で相談できる薬局です」

好立地で乗降客のセルフメディケーションを支援

プラザアオノ薬局行徳メトロピア店  
店長／登録販売者 遠藤悦司氏

プラザアオノ薬局行徳メトロピア店店長で登録販売者の遠藤悦司氏によると、同店でも「従来に比べれば飲み過ぎ・食べ過ぎによる胃腸症状を訴える人は減ってきている傾向にあるが、逆に増えてきているのがストレスからくる胃腸症状の訴え。同店の顧客は地下鉄、東京メトロ東西線を利用する通勤・通学の乗客がメインのため、休み明けに起こるストレスによる胃腸症状が定期的に急増している。



遠藤悦司氏

いるという。乗車する直前または下車直後の短いタイミングでも「下痢をなんとかしたい」「胃の痛みをすぐに取りたい」という人が立ち寄りやすい。

また遠藤氏は、例えば胃酸が過剰になっているのに重曹の入

った胃薬をのむと、「のんだときには胃酸を中和して一瞬はすっきりと気持ち良くなるが、その後リバウンドで胃酸がより多く出てくることがある」とし、結果的に症状が改善しない恐れにも繋がる。中にも誤ったセルフ購入により本来の胃酸コントロールとは逆に作用してしまっているケースも見られるとし、医薬品については店頭で相談を

お尻に疲れると「お尻に出る」

「肝臓が疲れると「お尻に出る」ことがあるという。冬場はただでさえ血の

巡りが悪いのでこれと相まって正月明けにはシンスンを迎える。接客では「中から切れているか否か、外か、切れているか否か、腫んでいるか否か」でまずは大別。「切れ痔以外、イボ痔や脱肛などは患部上方に塗るだけでは不十分のために注入剤が適している」と説明した。

胃腸薬ナンバー1は大正漢方胃腸薬。なお、同店の売れ筋は、胃腸薬は「大正漢方胃腸薬」1個で済むようになった」と感慨深げな遠藤氏だが、痔は便秘や座りっ放し・立ちっ放しなどの生活習慣も関係してくる。そのため、症状に繋がってしまった要素を「相談にのる中でいかに探してあげられるか」が接客時のカギになると指摘する。顧客に対しては、



乗降客のニーズに応じた品揃え

乗車の前後で下痢・胃痛を訴える。東京のベッドタウンといえる千葉県市川市の行徳。東京メトロ行徳駅構内では同店が改札口の真正面に構える。改札からは30秒と掛からない場所で、地下鉄利用者の中には自然と飛び込んでくる好立地だ。正月明けの胃腸症状といえは年末年始に集中的に機会が増える食べ過ぎ・飲み過ぎが原因として依然あるものの、近年は冬休みが終わり仕事や学校が始まることに伴って

遠藤店長が相談できる専門家がいる。プラザアオノ薬局行徳メトロピア店



店舗はメトロ行徳駅構内の改札口のすぐ前に

おなかのトラブルで悩める人たちへ

下痢・水あたりに 1日3回



セイロガン糖衣

正露丸

詳しい製品内容や成分のことは ホームページ <http://www.seirogan.co.jp> セイロガン 検索